

2024 年 9 月 9 日

三井不動産株式会社
独立行政法人日本スポーツ振興センター
宗教法人明治神宮
伊藤忠商事株式会社

神宮外苑地区まちづくりにおける樹木の更なる保全と新たなみどりを創る取組みについて

神宮外苑地区まちづくり（以下「本計画」という。）では、2023 年 9 月 12 日に東京都からの要請（「神宮外苑地区のまちづくりにおける樹木の保全について（要請）」）を受け、本計画エリア全体で一本でも多くの樹木を保全するために、施設計画の工夫等及び既存樹木の 2023 年の調査結果を踏まえた細部にわたる検証を行った上で、事業者間での協議を重ねてまいりました。今般、伐採本数の削減とともに、新たなみどりの創出に向けた緑化計画の見直し案をとりまとめ、東京都に報告しましたので、その内容についてお知らせいたします。

本リリースのポイント

1. 再開発後の樹木本数の増加

本計画における 3m 以上の樹木の本数は、当初計画では再開発前の 1,904 本から、再開発後は 94 本増加し 1,998 本としていましたが、今回の以下見直し等により、**再開発後は 400 本増加し 2,304 本**となります。（増加する 400 本は、伐採本数減少 124 本、今回の新植本数増加 261 本、当初計画での樹木増加 94 本の合計から、枯損等 79 本を差し引いた本数となります。）

(1) 施設計画の工夫等による伐採本数の削減等

新ラグビー場及び聖徳記念絵画館前事業計画における施設計画の工夫や 2023 年に実施した毎木調査に基づく保存もしくは移植への見直しのほか、既存樹木の枯損等（※1）により、**伐採樹木は当初計画の 743 本から 124 本減少し 619 本**となります。

(2) 新植本数の増加

緑化計画の深度化に伴い、新植樹木は**当初計画の 837 本から 261 本増加し 1,098 本**となります。

2. 新野球場棟のセットバック幅の拡大

いちょう並木の歩道縁石から新野球場棟地下躯体までの距離（以下「セットバック幅」という。）について、2023 年と 2024 年の 2 回のいちょう並木の根系調査により根の太さ・本数・長さを調べた結果を踏まえ、セットバック幅を当初計画の約 8m から**約 10.3m 拡大し、約 18.3m に設定する方針**といたします。これにより、いちょうを保全するためのより良い生育環境の充実に図ることができます。なお、本方針については、複数の樹木医等の専門家（補足資料参照）の意見を基に、調査方法の検討や結果分析を行い、さらに第三者からのセカンドオピニオンを得た上で、決定に至っております。

※1 「枯損等」とは、立ち枯れや腐朽等により、安全管理上撤去する必要がある樹木を指します。

1. 再開発後の樹木本数の増加

施設計画の工夫等による伐採本数の削減や、新植本数の増加に伴い、本計画における樹木の本数は再開発前との比較において 1,904 本から 2,304 本へ 400 本増加いたします。増加する 400 本は、伐採本数減少 124 本、今回の新植本数増加 261 本、当初計画での樹木増加 94 本の合計から、枯損等 79 本を差し引いた本数となります。

	再開発前	再開発後
当初計画	1,904本	1,998本
見直し後	1,904本	2,304本

+400本

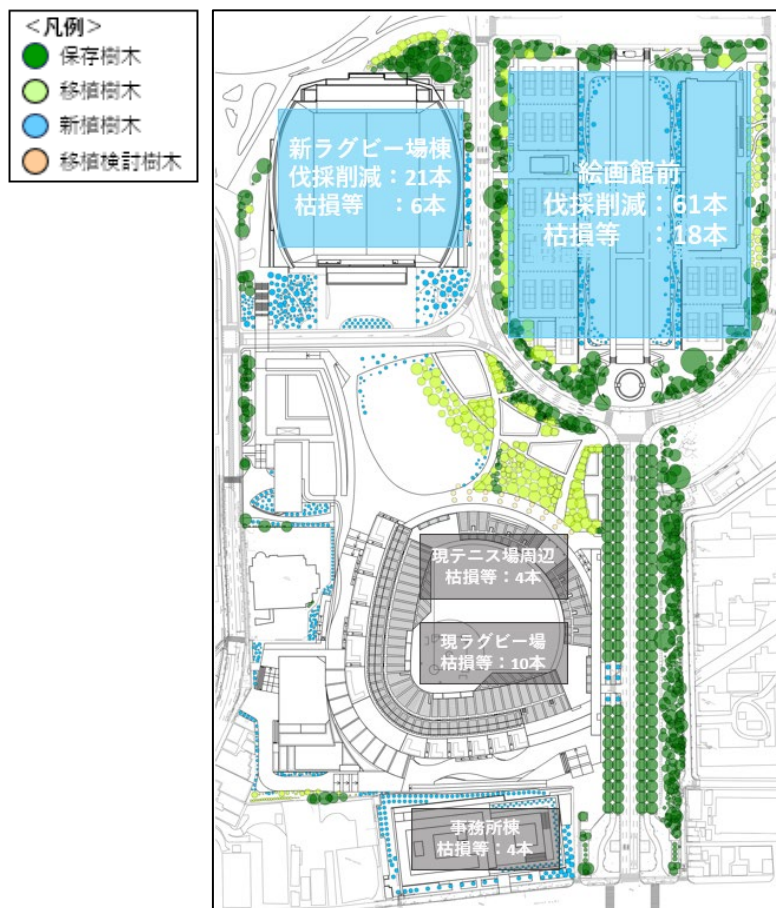
(1) 施設計画の工夫等による伐採本数の削減等

新ラグビー場敷地及び聖徳記念絵画館前の既存樹木について、施設計画の工夫により伐採本数を 66 本削減いたしました。また、2023 年に実施した毎木調査（以下「2023 年毎木調査」という。）の結果、樹木の樹勢回復等を踏まえ、16 本を伐採から移植へ見直しました。このほか、枯損等による伐採予定樹木 42 本の減少を反映した結果、伐採本数は当初計画の 743 本から 619 本へ 124 本減少となります。

表 1. 見直し後の伐採本数 124 本減少の内訳

	全体	内訳		
		新ラグビー場	絵画館前事業	その他
伐採から保存に変更（施設計画の工夫による変更）	66	9	57	0
伐採から移植に変更（樹勢回復等に伴う変更）	16	12	4	0
見直しによる伐採削減本数（①）	82	21	61	0
枯損等による伐採予定樹木の減少本数（②）	42	6	18	18
本計画における伐採削減・減少本数の合計（①+②）	124	27	79	18

図 1. 見直し後の伐採本数 124 本減少のエリア分布



※2 移植樹木や新植樹木の位置については詳細検討中であり、今後変更の可能性がございます。

(2)新植本数の増加

施設計画の工夫や移植樹木の移植先の見直しにより、新植本数は当初計画の 837 本から 1,098 本へ 261 本増加となります。

表 2. 新植本数の見直し

	全体	内訳		
		新ラグビー場	絵画館前事業	その他
当初計画	837	81	398	358
見直し後	1,098	212	528	358
増加本数	+261	+131	+130	0

■枯損等が生じた樹木の取扱い

「枯損等」とは、立ち枯れや腐朽等により、安全管理上撤去する必要がある樹木を指します。神宮外苑の樹木については、樹齢の経過とともに樹勢が弱まっている樹木も少なくなく、来訪者の安全確保のために、日常的に倒木や枝折れの対策を実施し、過去 15 年間で約 300 本の枯損等が生じた樹木を撤去し、補植による樹木の更新を行っております。

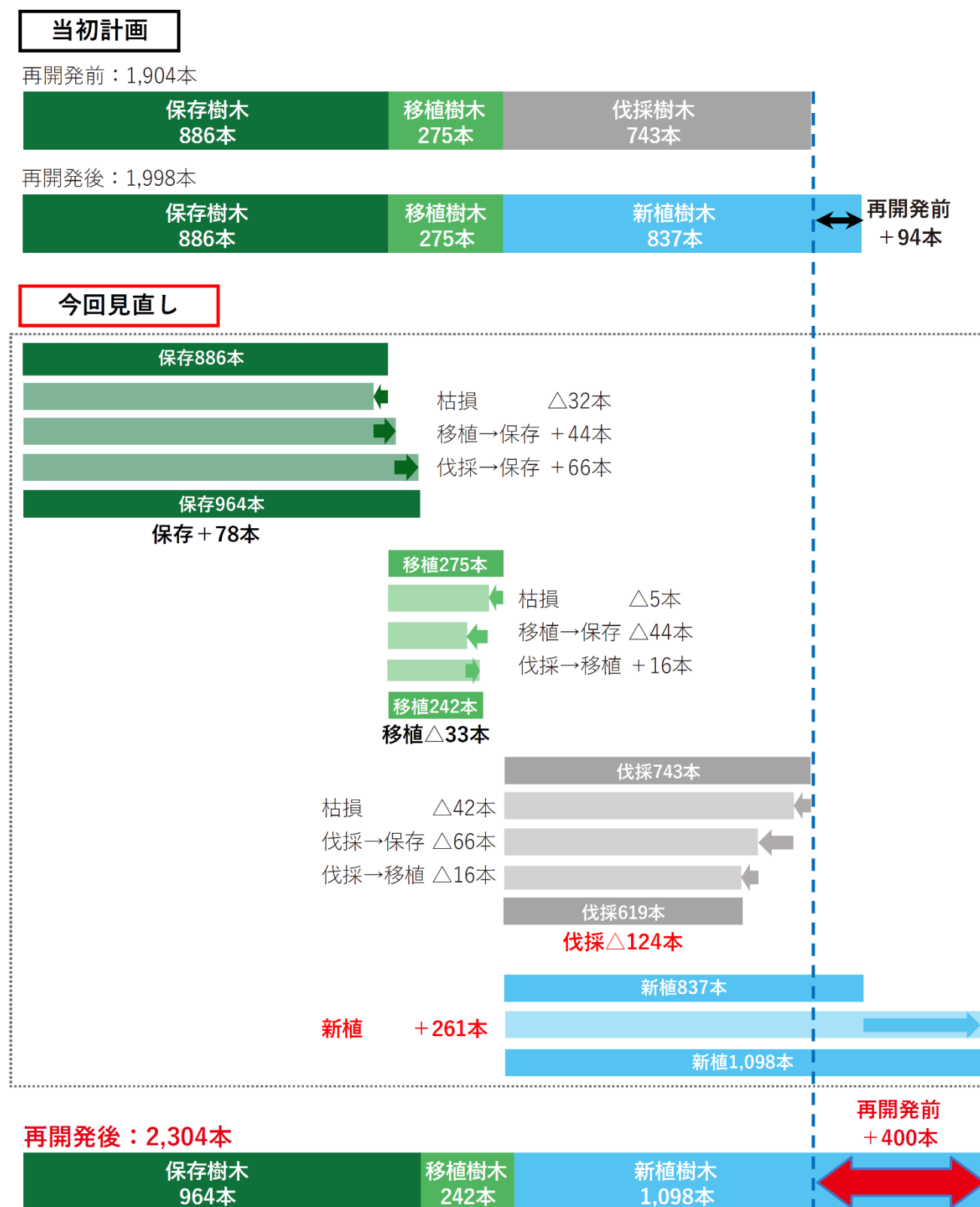
本計画における再開発前の樹木本数は、2018 年から 2019 年にかけて実施した毎木調査（以下「2019 年毎木調査」という。）を基にしていますが、2019 年毎木調査以降の約 4 年間で枯損等が 79 本（当初計画においては伐採 42 本、保存 32 本、移植 5 本としていた樹木）生じています。

今後も樹勢の弱い樹木を中心に、枯損等が一定量生じることが予想されますが、本計画で保存もしくは移植予定であった樹木が枯損等により失われた場合は、同数の補植を実施する計画としており、将来豊かな緑の環境を創造してまいります。

以上の見直し等の結果、本計画における樹木本数は、当初計画から以下の通り変更となります。

(増加する 400 本は、伐採本数減少 124 本、今回の新植本数増加 261 本、当初計画での樹木増加 94 本の合計から、枯損等 79 本を差し引いた本数となります。)

図 2. 当初計画と見直し後の樹木本数比較



※3 本リリース及び補足資料における樹木本数は、樹高 3m 以上の樹木を対象としております。

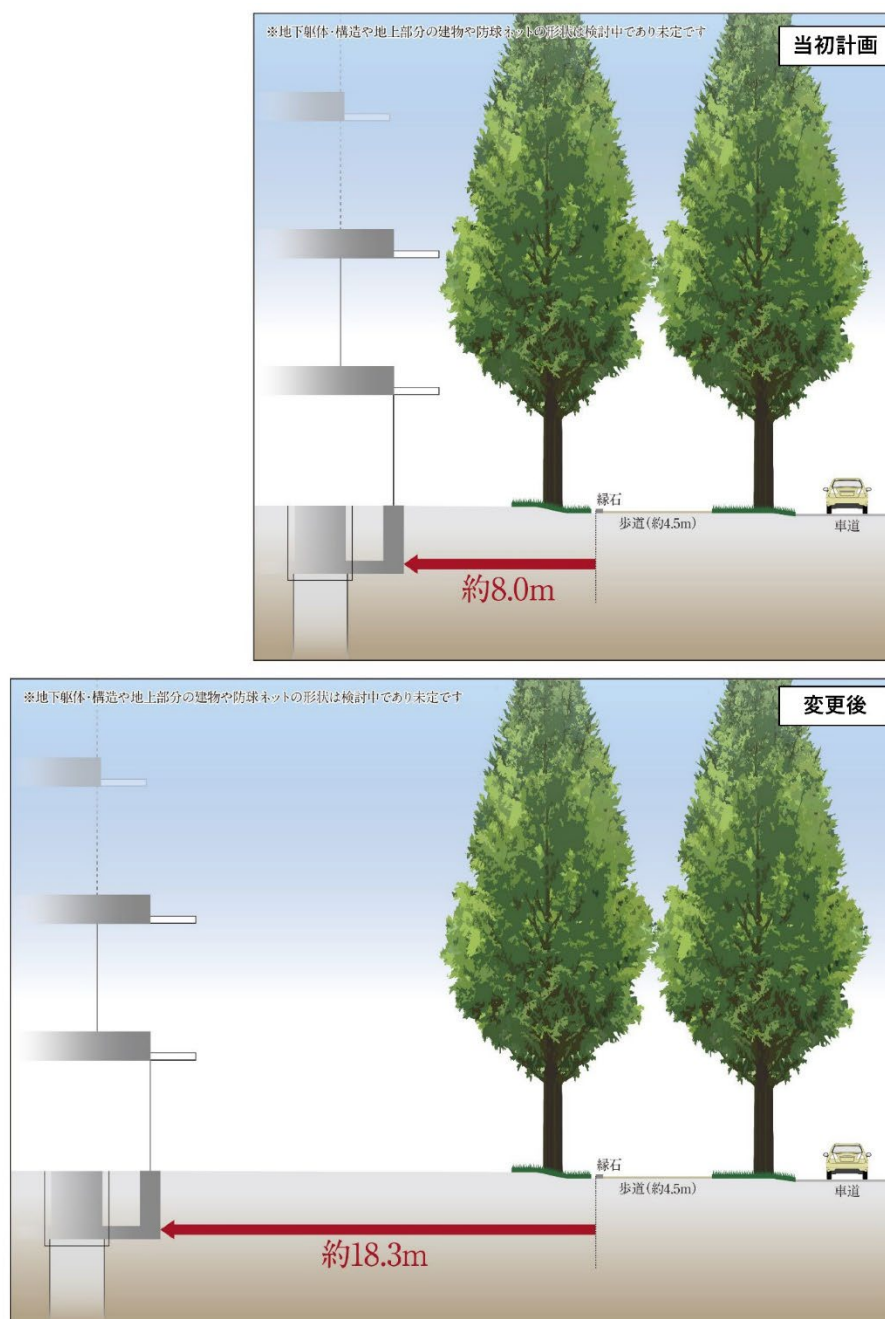
※4 移植樹木には、移植検討樹木 19 本を含みます。

2. 新野球場棟のセットバック幅の拡大

(1) 根系調査の結果と新野球場棟のセットバック幅拡大について

2023 年 1 月と 2024 年 1 月の 2 回にわたり実施した 4 列のいちよう並木の西側一列の根系調査により、根の太さ・本数・長さ等を調査した結果、いちよう並木の歩道縁石から西側へ約 17m を超えた位置では直径 30 mm 以上の根（※5）は確認されなかったことから、約 17m までを根系保護範囲とします。さらに約 1.3m を工事中の施工スペースや更なる根系伸長域として確保し、新野球場棟のセットバック幅を、当初計画の約 8m から約 18.3m に拡大する方針といたしました（図 3. 参照）。

図 3. 根系保護範囲と新野球場棟地下躯体セットバック簡易模式図



※5 環境影響評価書においては「根系調査の結果、調査断面（1m×1m）において、直径 30 mm 以上の根が 4 本未満の場合には根を切断し、4 本以上の場合には根に対して環状剥皮を行う。いちようの健全な生育に影響を与えるような根が複数確認されたと樹木医が判断する場合には、樹木医の見解を踏まえ、施設計画の工夫等を行い、いちようを保全する。」とする判断基準を設けています。

上記の通り、セットバック幅を約 18.3m に設定することにより、いちょうの根系保護範囲は当初計画の 2 倍以上に拡大されます。また、いちょう並木沿いの歩行者空間やオープンスペースが増大します。4 列のいちょう並木を保全し、聖徳記念絵画館を臨む見通しの良い美しい景色を後世に継承しながら、より多くの方々にいちょう並木に親しんでいただける空間を創出します。

なお、根系調査はイビデングリーンテック株式会社が実施しており、複数の樹木医等からの意見を基に調査方法の検討や結果の分析を行い、さらに第三者のセカンドオピニオン（※6）を得た上で、本方針の決定に至っております。

※6 根系調査の結果及びセカンドオピニオンの詳細については、後述の「神宮外苑地区まちづくりにおける更なる樹木の保全と新たなみどりを創る取組みについて＜補足資料＞」をご参照ください。

(2) いちょうの樹勢回復措置について

いちょうの生育環境をより良くするため、2024 年 4 月より様々な樹勢回復措置を実施しております。樹勢回復措置の具体的な内容については、2024 年 7 月 26 日付の以下リリースをご参照ください。

URL : https://www.jingugaienmachidukuri.jp/pdf/jingugaienmachidukuri_news_2024072601.pdf

なお、本リリース記載内容に関する詳細については、本リリースと同日付に発信した「神宮外苑地区まちづくりにおける樹木の更なる保全と新たなみどりを創る取組みについて＜補足資料＞」をご参照ください。

URL : https://www.jingugaienmachidukuri.jp/pdf/jingugaienmachidukuri_news_2024090902.pdf

3. その他

港区などからの要請を踏まえ、住民説明会の開催及び実施に向けた検討を進めております。詳細については、決まり次第、改めてお知らせいたします。

本リリースに関するお問い合わせは、以下の窓口までお願いいたします。

また、以下プロジェクトサイトにて本計画に関するご質問受付・回答を行っておりますので、是非ご利用ください。なお、ご質問をいただいてからプロジェクトサイトへ回答を掲載するまでの所要期間は約 3 週間～1 か月程度となります。

URL : <https://www.jingugaienmachidukuri.jp/faq/>

お問い合わせ窓口

神宮外苑まちづくり準備室

電話番号：03-6695-0539

開所時間：月～金曜（祝日除く） 9 時～18 時

神宮外苑まちづくりプロジェクトサイト：<https://www.jingugaienmachidukuri.jp/>

なお、本リリース及び補足資料に掲載の企業・団体・個人へのお問い合わせや取材等のご遠慮いただきますようお願いいたします。

以 上